（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	2026年1月5日	～	2026年1月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○従業者評価実施期間	2025年12月12日	～	2026年1月31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○訪問先施設評価実施期間	2026年1月5日	～	2026年1月31日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象施設数）	7	（回答施設数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問看護ステーションや相談支援事業と併設のため、ご利用児の状況把握が行いやすい。	・多職種で情報共有を行い、全体把握に努めている。 ・ご家庭と保育の集団の場の違いを意識し、集団の場での適応や生活に繋がる内容を支援できるよう努めている。 ・保育所等施設の理念や保育計画等、施設の考えや支援内容を把握しながら、保育所等施設との連携に努めている。	・今後もご利用児の状態を多職種で把握し、訪問先施設の方針と合わせながらよりよい支援につなげる。

2	訪問看護ステーションや相談支援事業と併設のため、ご家族のご不安やご希望を把握しやすく、保育所等訪問支援も早期から開始できる。	・訪問看護で早期からニーズを吸い上げ、必要時は相談支援員とも連携し、開始に繋げている。 ・あくまで補助的な立場で支援を行うよう意識し、ご家族と保育所等施設の方々との連携を意識して支援を行っている。	・多職種での連携を継続。 ・ご家族や保育所等施設の困りごとやご希望も引き続き丁寧に聞き取り支援につなげる。
3	多職種が在籍しており、情報共有が行いやすい。	・PT,OT,ST,看護師,相談支援員等のスタッフが在籍しており、それぞれの専門性を生かして、役割を把握しながら取り組んでいる。 ・柔軟に動けるようスケジュール調整に配慮がある。 ・職員がよりよい意見交換を行おうとする姿勢を持っている。	・新たな研修等への参加や意見交換を重ねていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	対象が未就学児に限る。	・事業所の経営方針による。	・対象年齢外の児については、学校や他施設との連携や情報共有に努める。
2	非常時等の対応について、個別対応はご家族や保育所等施設と共有を広げているが、全体的な情報共有や発信は十分でない。	・情報の共有や発信等を行う機会や方法を検討できなかった。	・ホームページ等の利用を検討して内部外部への共有や発信を行いやすくする。

3			